

# JIS

## 銅及び銅合金中のアルミニウム 定量方法

JIS H 1057 : 1999

(2004 確認)

(2008 確認)

平成 11 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS H 1057 : 1987は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格の原案の提案を容易にするため、ISO 3110 : 1975, Copper alloys—Determination of aluminium as alloying element—Volumetric methodを規格の一部とした。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 62.11.1 改正：平成 11.3.20

官 報 公 示：平成 11.3.23

原案作成協力者：日本伸銅協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 非鉄金属部会（部会長 神尾 彰彦）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

# 銅及び銅合金中のアルミニウム H 1057 : 1999

## 定量方法

### Methods for determination of aluminium in copper and copper alloys

**序文** この規格は、1975年に第1版として発行されたISO 3110, Copper alloys—Determination of aluminum as alloying element—Volumetric method を基に、対応する部分(エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム・銅逆滴定法)については、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目(6.以外の項目)を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

**1. 適用範囲** この規格は、銅及び銅合金(伸銅品、鋳物用地金及び鋳物)中のアルミニウム定量方法について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 3110 : 1975 Copper alloys—Determination of aluminium as alloying element—Volumetric method

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS H 1012 銅及び銅合金の分析方法通則

JIS K 0113 電位差・電流・電量・カールフィッシャー滴定方法通則

JIS K 8005 容量分析用標準物質

**3. 一般事項** 分析方法に共通な一般事項は、JIS H 1012, JIS K 0113及びJIS K 8005の規定による。

**4. 定量方法の区分** アルミニウムの定量方法は、次のいずれかによる。各定量方法の対象合金番号又は記号は、表1による。

a) **安息香酸沈殿分離エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム・亜鉛逆滴定法** この方法はアルミニウム含有率0.20 % (m/m) 以上12.0 % (m/m) 以下の試料に適用する。

b) **エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム・銅逆滴定法** この方法は、アルミニウム含有率0.50 % (m/m) 以上12.0 % (m/m) 以下の試料に適用する。ただし、チタン及び/又はジルコニウムを含有する試料には適用しない。

c) **原子吸光法** この方法は、アルミニウム含有率0.10 % (m/m) 以上3.0 % (m/m) 以下の試料に適用する。

d) **ICP発光分光法** この方法は、アルミニウム含有率0.002 % (m/m) 以上12.0 % (m/m) 以下の試料に適用する。